

事業計画説明書

1. 事業の施工理由及び効果

・ 施工理由

燃やせないごみについては、現在埋立処分を行っている佐土原町不燃物処理場が平成元年度末には埋立完了となるため、早期に次期埋立処理場を確保する必要があり、昭和63年度・平成元年度の2ヶ年事業により建設しようとするものである。

・ 効果

町民生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。

2. 設置しようとする施設の処理対象人口と処理能力

・ 処理対象人口

平成11年度末（42,900人）

・ 処理能力（埋立量）

10ヶ年（平成2年度～平成11年度）約91,200 t

3. 事業計画

不燃性ごみ、及び焼却残灰の最終処分地建設を行うもので、埋立地は山間埋立（佐土原町西部山間地、中心地より約8km）とし、サンドイッチ工法により即日覆土を行う。

計画目標年次は平成11年度までの約10年、約91,200 tの不燃性ごみ、及び焼却残灰を処分する。

1) 事業概要

- |       |  |
|-------|--|
| ・ 面積  | 約5.2ha（うち実埋立面積約2.0ha）                          |
| ・ 容量  | 123,000m <sup>3</sup>                          |
| ・ 期間  | 約10年（平成2年度～平成11年度）                             |
| ・ 処分量 | 不燃性ごみ（含 焼却残灰）約91,200t（約107,300m <sup>3</sup> ） |
|       | 覆土量 約22,800t（約15,200m <sup>3</sup> ）           |
|       | 計 約114,000t（約122,500m <sup>3</sup> ）           |

・貯留施設

イ) よう壁……………高さ19m、天端幅員6m、底部幅員80m  
法面勾配1:1.8

ロ) しゃ水設備…土えん堤内側法面及び埋立地底部ゴム  
シート張り

ハ) その他……………雨水集水管、汚水集水管、ガス抜き工、  
雨水調整池、汚水調整池、搬入管理施設

・浸出液処理施設

イ) 処理方式……………生物膜処理方式（回転円板法）＋物理化学  
処理（凝集沈殿、急速ろ過活性炭）

ロ) 処理量……………66 m<sup>3</sup>/日（日平均）

2) 補助対象となる事業

貯留施設、搬入道路、搬入管理施設、浸出液処理施設

（脱室処理工程、及び高度処理（急速ろ過活性炭）を除く）

4. 施工方針（工事方法）

1. 前処理施設工……………場内土工、場内道路

2. よう壁流出防止設備工……………土えん堤築造

3. しゃ水工……………場内底部、土えん堤内側法面ゴムシ  
ート張り

4. 雨水等集排水設備工……………排水管、ボックスカルバート、U字溝、  
雨水調整池

5. 浸水液集水設備工……………排水管（有孔ヒューム管）、汚水調  
整池

6. 浸水液処理設備工……………浸水液処理施設建設予定地土工、  
処理施設建設

7. 飛散防止設備工……………埋立地外周に飛散防止用フェンス張り

8. 発生ガス対策設備工……………ガス排気工

9. 防火設備工……………防火水槽2基築造

10. 搬入管理設備工……………管理棟、計量棟、トラックスケール

5. 施工方法

1. 貯留施設及び管理施設工……請負
2. 搬入道路……請負
3. 汚水処理施設……請負

6. 施工場所及び総面積

1. 施工場所

佐土原町大字西上那珂字畑ヶ迫

2. 総面積

約52,000㎡(うち実埋立面積20,000㎡)

7. 工事着工 年月日及び竣工予定年月日

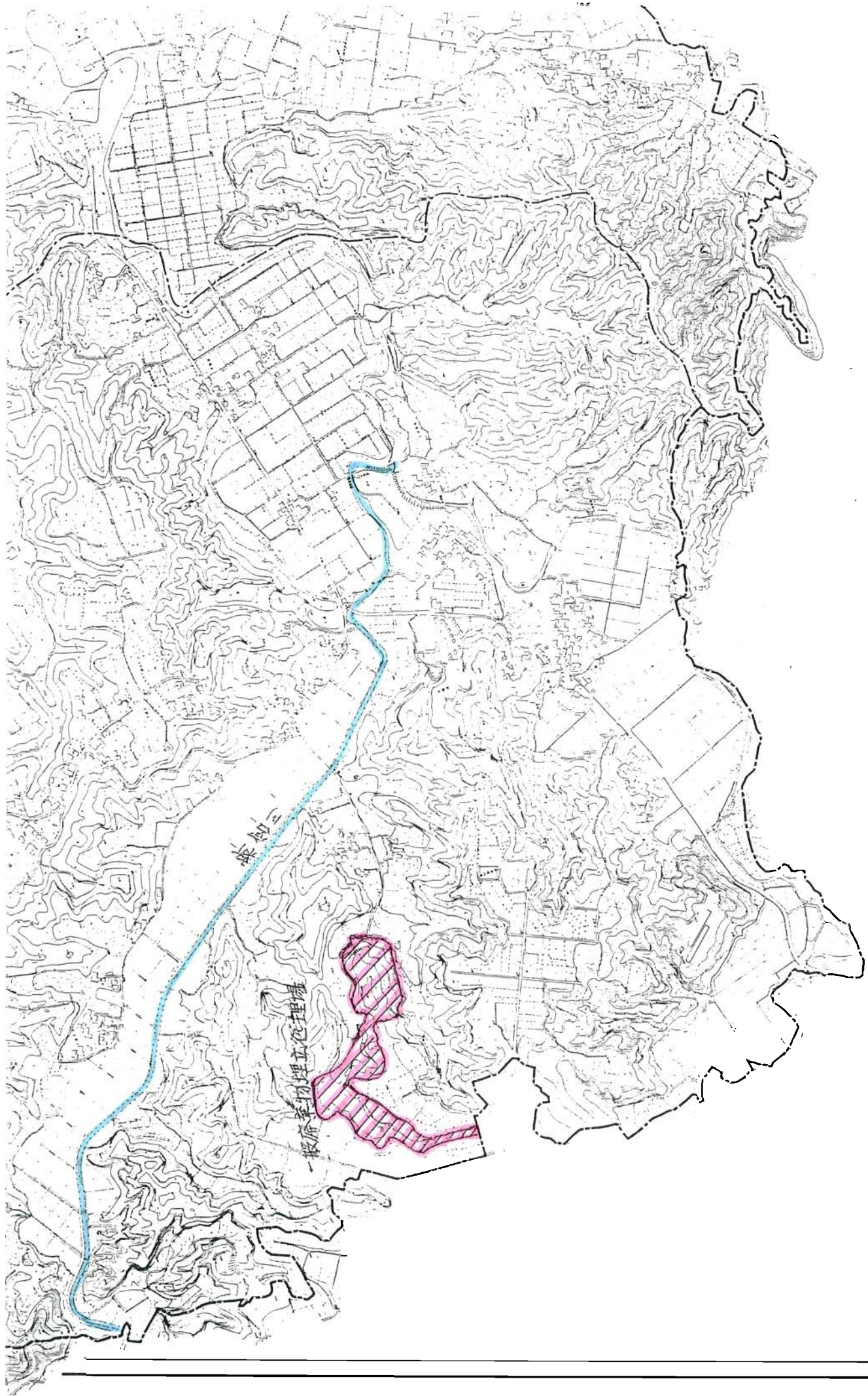
当該年度	着工	平成元年1月5日
事業	竣工予定	平成元年3月31日
全体	着工	平成元年1月5日
事業	竣工予定	平成2年3月31日

8. 設計責任者

所属 佐土原町都市計画課 職 課長 氏名 日高 孝

9. 工事施工監督者

所属 佐土原町都市計画課 職 技師 氏名 長友 康明



河川

一般廃棄物埋立処理場